2025 ズバリ！的中 世界史

早稲田大学

ブルボン朝に関する語句の組み合わせとして正しいものを選ばせる問題が的中

入試問題

2月15日実施　法学部
Ⅲ　設問4

Ⅲ　次の文章を読み，以下の問いに答えなさい。解答はマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

15世紀末に勃発する①イタリア戦争から，三十年戦争を終結させた17世紀半ばの②ウェストファリア条約締結までの間に，いわゆる主権国家体制が確立したと言われる。一定のルールのもとに戦争と交渉を繰り返すこの新しい世界秩序は，③国内外のいかなる権力も君主の主権に干渉できない，という国家理解を前提としている。

三十年戦争から18世紀末まで続く近世主権国家は，④絶対王政という実態を持つと考えられてきた。⑤常備軍の創設にみる君主を頂点とする軍制の確立，中央集権的な財政基盤の強化，君主に忠実な官僚制の構築などがその特性である。⑥封建制を基盤とする中世身分制国家との差異が強調されることによって，絶対主義的な主権国家にはこれまで相対的に近代的なイメージが与えられてきた。実際に，ボーダンや⑦ホッブズの国家論を根拠に，絶対主義国家は中世キリスト教共同体の崩壊後に現れた一元的な近代国家と認識される傾向さえあった。

しかし，近年，君主による排他的な支配ではなく，君主と特権層の協働を特色とする対内主権の重層性のほか，そうした属性をもった複数の地域が離合集散を繰り返す柔軟な対外主権の実態が示されつつある。従来の主権国家像は大いに変化し，「ウェストファリア神話の解体」さえ指摘されるようになったのである。仮にそうであるなら，各国が政治的自立性の確立をめざし，固有の伝統・文化や⑧イデオロギーを掲げて競いあったと言われる近現代の主権国家，いわゆる国民国家についても無批判ではいられない。近現代の主権国家についても，いずれ総合的な再検討が始まるのであろう。

設問 4　下線部④に関連して，ブルボン朝の君主の名とその事績との組み合わせとして正しいものを，次の 1 ～ 4 の中から一つ選びなさい。

1　フィリップ 4 世　―　三部会の開設
2　ルイ13世　―　ナントの王令廃止
3　ルイ15世　―　ジョージ王戦争への参戦
4　ルイ18世　―　アルジェリア遠征

河合塾

早慶レベル模試
Ⅲ　問11

Ⅲ　動物がペットとして人々の生活に深く関わるようになると，芸術作品の中に動物が登場することが増えていった。N ルイ 13 世の宰相リシュリューのネコ好きは有名で，彼はネコたちと寝食を共にし，彼の肖像画にはネコが描かれているものが多い。

人物を描いた絵画の副題としての登場が多かった動物だが，18 世紀になるとイヌやネコがペットとして中産階級の間でも広まったことをうけ，動物が構図の中心に据えられた絵画が増加した。スペインの画家ゴヤは「猫の喧嘩」を描き，「民衆を導く自由の女神」を描いたフランスの画家 ○ は約 400 点もの動物画を残した。

P 19 世紀半ば以降のフランスで，写実主義や印象派が風景や人物など身近なものや近代市民生活を題材とするようになると，その作品の中には生活の一部としての動物が多く描かれることとなった。写実主義の代表的な画家であり，女性として初めてレジオン＝ドヌール勲章を受賞したボヌールは，「馬の市」など動物をありのままに捉えた作品で知られる。印象派の先駆ともいわれるマネは，「犬の頭部」「タマ，日本犬」などを描き，印象派では，Q ルノワールが「アントニーおばさんの宿屋」「日本の犬タマ」でイヌを，「眠る猫」ではネコを描いた。マネとルノワールがともに題材とした「タマ」は銀行家アンリ＝チェルヌスキの飼い犬であった。また，日常生活に密接した作品を多く残したドガは，「犬のいる馬小屋」を描いた。さらに，R 19 世紀末に自分の心の中にある感覚や感受性を重視するポスト印象派が出現すると，その代表である画家ゴッホは，カワセミやウマなどの動物を描いた。

問 11　下線部 N の国王は，ブルボン家出身である。ブルボン朝の国王の中で 19 世紀に在位していた国王名と，その国王の在位中に起きた出来事，およびその影響として最も適当な組み合わせはどれか。次の**ア**～**エ**の中から一つ選びなさい。

ア　ルイ 16 世　／　バスティーユ牢獄襲撃　／　全国的に農民蜂起が発生
イ　シャルル 10 世　／　アルジェリア出兵　／　自由主義者の反発が強まる
ウ　ルイ 18 世　／　二月革命　／　パリ＝コミューンが成立
エ　ルイ＝フィリップ　／　六月蜂起　／　第二共和政が成立